

BE AMBITIOUS

卒業学科	2021年度 文学部英米文学科 卒業	
氏名	石井 奎吾	
進学先	東京学芸大学教育学研究科教育実践専門職高度化専攻 英語教育サブプログラム	
自己紹介	留学フェア等で海外に興味を持ち、1年生の春休みに参加したDiversity Voyageで短期留学をしたことで英語教育に興味を持ちました。これをきっかけに困っている人を教育で支えたいと思うようになり、大学院進学に向けての勉強を始めました。現在は東京学芸大学大学院にて英語学習に顕く要因についての研究をしています。	

<ロードマップ>

学年	学期	留学	語学講座	留学関連科目	語学スコア	学内イベント等	大学院入試
1年 (2018)	春			【LEAP】EAP Listening/Speaking Reading/Writing	TOEFL ITP 470 (TOEIC L&R換算 500) TOEIC L&R 650	留学フェア参加	
	秋	Diversity Voyage (フィリピン)			TOEIC L&R 700 TOEIC L&R 715	留学フェア参加 2018年度秋学期LEP (Language Exchange Partner)	大学院に進学したいと思い始める。
2年 (2019)	春		【資格試験対策講座】 2019春TOEIC 対策講座 【Language Center】 Conference Writing	短期海外研修	TOEIC L&R 795	留学フェア参加 2019年度春学期LEP	大学院進学についての情報を集め始める。
	秋				TOEIC L&R 830	英語プレゼンテーションコンテスト出場	英語教育に関するセミナーに積極的に参加し、知識を身につける。
3年 (2020)	春		【Language Center】 BESTプログラム				オープンキャンパスに参加する。
	秋	留学団体主催短期語学留学プログラム (カナダ)			TOEIC L&R 795		大学院入試に向けての英語教育について書かれた本を用い、週に1度読書会を行う。
4年 (2021)	春						志望理由等の書き出しを行う。また、過去問を2周解く。
	秋	経済学部主催 米国研修オンラインプログラム「SDGs」			TOEIC L&R 855		10月に受験し、11月に合格発表を迎える。

2022年4月

東京学芸大学大学院へ入学

【学部生時代編（留学・語学学習）】

留学を目指すきっかけ、留学時の目標

1年生の春学期に参加した、留学フェアで東洋大学に数多くの留学プログラムがあることを初めて知りました。そこから留学に興味を持ち、参加しやすい留学プログラムを探し始めました。実際に参加したDiversity Voyageでは現地の大学生と東洋大学からの参加者でチームとなり協力して課題解決に取り組むことが多かったです。そのため、チームを引っ張っていくリーダーのような存在になると留学中に宣言し、それを目標としていました。初日に現地の大学生がかなり積極的であり、東洋大学から参加していた私たちはあまり発言することができなかったので、その現状を打破しようと思いました。自ら、率先して発言することでチーム全体の意識が変わると考えていました。

留学先を決めた理由

初めての留学であったため、手軽で気楽に行けるようなプログラムを探していたところ、春休みに10日間程度で参加可能なDiversity Voyageを見つけました。その中でもフィリピンのプログラムは子どもたちへの教育をテーマにしており、自分自身が教育に興味があったのと温かい気候が好きだったため、魅力を感じ参加しました。

留学に参加して良かったこと

Diversity Voyageでは、私たちが考えた教育プログラムで現地の子どもたちの笑顔が見れたことが一番良かったです。貧困地域に住み、しっかりとした教育を受けることが出来ていない子どもたちに、何かできないのかを現地の大学生と考え、フィールドワークやプログラムのリハーサルを繰り返し行いました。その結果、きらきらとした子どもたちの楽しそうな姿をみることができ、その姿は一生忘れません。

語学勉強方法（参加して良かった学内講座等）

学内：LEAPは本当に受講して良かったです。高校時代まではリーディング・リスニングのみしか勉強していませんでしたが、この授業ではスピーキング・ライティングをみっちりやることができました。週に4回授業があり、かなり大変でしたが英語を運用する力を磨くことが出来ました。また、スピーキングに対して抵抗感を感じていたため、学科の先生にお願いして週に1度、1時間程度英語のみを使って話をする時間を設けてもらっていました。加えて、英米文学科には英語学習に意欲的な友人が多く、英語のみで話す機会を設けたり、英語だけで話すライングループを作ったりして、一緒に勉強をしました。先生と友人には今でも感謝しています。

学外：英会話のラジオを聞くようにしていました。毎日、短時間で興味深いトピックについて聞けるため、電車内や家事をしている時など、すきま時間を使って英語学習をしていました。また「じゃれまが」という英語エッセイメールを購読して、リーディング力を鍛えると同時に単語力も鍛えていました。



参加して良かった学内イベント（国際交流イベント等）

英語プレゼンテーションコンテストです。今まで人前で英語を使って発表をするという経験はありませんでしたが、コンテストを通して英語力に自信を持つきっかけとなりました。また、チームで優勝するという目標を掲げ、プレゼンで何を伝えたいのか、どのように表現していくかなどを英語で考えることにより、個人の力に加え、チームとしての力が身に付きました。今でもその時のメンバーはかけがえのない存在であり、とても仲が良いです。

今振り返って、学部生時代に取り組んでおけば良かったと思うこと

語学試験に積極的にチャレンジするべきであったと思っています。大学生の時に10回程度は語学試験を受験しましたが、机に座って黙々と勉強することが幼いころから苦手であったため、試験に向けての勉強があまりできませんでした。そのため、いつか試験を受けようとして先延ばしにし続け、TOEIC以外の4技能を測る試験（IELTSやTOEFL iBT）にあまり挑戦できませんでした。先延ばしにするよりも今から語学試験に向けての勉強をするべきです。

【学部生時代編（大学院入試編）】

大学院入試での英語試験について（出題の特徴、勉強して役立ったことなど）

英語教育に関する問題が出題されました。具体的には、英語教育に関する用語を説明する問題、英語教育に関する長文を読んで意味を答える問題、英語教育の課題について自分の考えを日本語・英語で書く問題が出る特色があります。授業で使用していた英語教育に関する本に掲載されていた用語はすべて意味を覚えたり、他校の過去問で出た英語教育に関する用語を覚えたりしました。前述した読書会で購入した本がたまたま英語長文の問題で出題され、英語教育の本をたくさん読み漁った成果が出たと思います。

進路の決め方（就職ではなく進学を選んだ経緯など）

英語教育を専門的な大学院で勉強したいと思い、大学院進学を選択しました。確かに、東洋大学でも英語教育については学べましたが、教育に特化した大学ではないため、教員養成のフラッグシップ大学で英語教育について専門的に学びたいと考えました。また、埼玉県教員採用試験で合格を頂いていたので、2年間の猶予（※）がもたらえ大学院進学をしやすい環境にあったこともあり、進学を選択しました。

（※）教員採用候補者のうち大学院進学予定者に対し、専修免許状の取得を条件に一定期間採用候補者名簿への登録を猶予する制度

【大学院生編】

研究内容

英語学習に携わっている生徒を支援したいと思い、その要因についての研究を行っています。留学を通して、困っている人を助けたいという気持ちが芽生えたためこの研究を行っています。具体的には英語の授業形態についての分析や様々な出版社から発行されている検定教科書を比較して、英語学習を苦手と感じてしまう要素はどのようなものなのかを明らかにしようとしています。この研究によって、英語授業における躓きを減らす授業形態の提案をしようと思っています。

留学経験で研究内容に活かされていること（外国語の使用や海外との関わり等）

留学中に現地でのフィールドワークを行ったことによって分析力が身に付きました。現地では貧困地域に住む方々のニーズを把握し、子供たちの笑顔を増やすためにどのような教育を求めているのかわかりサーチするを行いました。その経験は、研究をする際に必要な課題分析力に活かされていると感じています。また、積極的に英語で会話をする必要があったため、話すことに対する抵抗感がなくなりました。大学院の授業では英語のみでディスカッションをする場面があるので、活かされていると思います。

自己成長のために取り組んでいること（語学学習、資格取得、ボランティア活動等）

専門学術論文を英語で書くために、英語で書かれた教育に関する論文を月に5本以上は読んでいます。今まで学習してきたことが積み重なることで難解な英語論文が読めるようになったと感じています。また、勉強のみではなく運動にも力をいれています。東洋大学の駅伝部に憧れ、駅伝チームを創りました。高校・大学時代の仲間と月に1度の大会で入賞することを目標に練習を続けています。文武両道を意識することで、充実した大学院生活を過ごせていると思います。